

第7回

土浦の雛まつり

2月11日(金)～3月3日(木)
午前10時～午後5時(3月3日は午後4時まで)

今年も、市内約70か所で、商家などに伝わる江戸・明治時代からの雛人形や、手作りによる色とりどりの「つるし雛」、ちりめん細工を展示します。
また、蓮の葉や実をアレンジして作られた「霞連雛人形」、霞ヶ浦のタニシを原料として作られた「かすみ人形」などさまざまな雛人形を展示し、江戸末期の蔵と調和した「和」の空間を醸し出します。
一部の協賛店では、和服を着てご来場した方にサービスもご用意しています。皆さん、ぜひ足を運んでみてください。



●土浦まちかど蔵「大徳」

袖蔵：商家の雛人形(江戸・明治時代)

2階多目的室、和室…つるし雛

●土浦まちかど蔵「野村」

袖蔵：霞連雛人形(ハス田の会)

●商店街

各協賛店で雛飾りを展示(江戸から平成までの雛飾り)

●小町の館

雛人形とつるし雛

●市立博物館

幕末から大正期の雛人形

●上高津貝塚ふるさと歴史の広場

縄文ファッションのお雛さま

※博物館とふるさと歴史の広場は、別途入館料がかかります。

関東土浦市観光協会(☎824・2810)

主な会場マップ

